ふるさとたまの！ ののちゃんの街

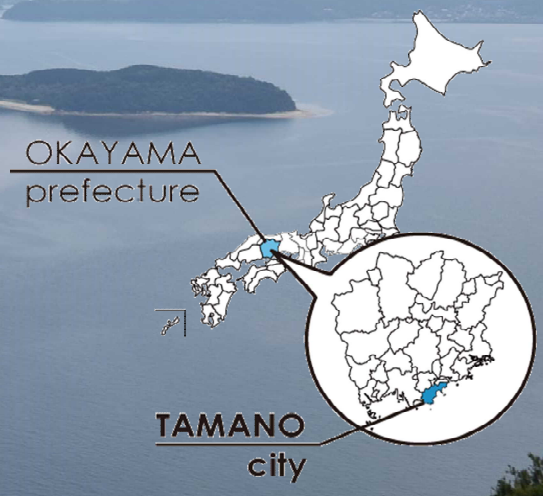
令和元年度版

玉野市の概要

たまのってどんなまち？

＊目次＊

玉野市のプロフィール・・・・1
玉野市のよいところ・・・・・3
都市交流・・・・・・・・・・5
まちづくり・・・・・・・・・7
ユニークな行政施策・・・・・11
イベント・・・・・・・・・・15
特産物・・・・・・・・・・・17
観光・・・・・・・・・・・・19
データで見る玉野市・・・・・22
玉野市のあゆみ・・・・・・・25



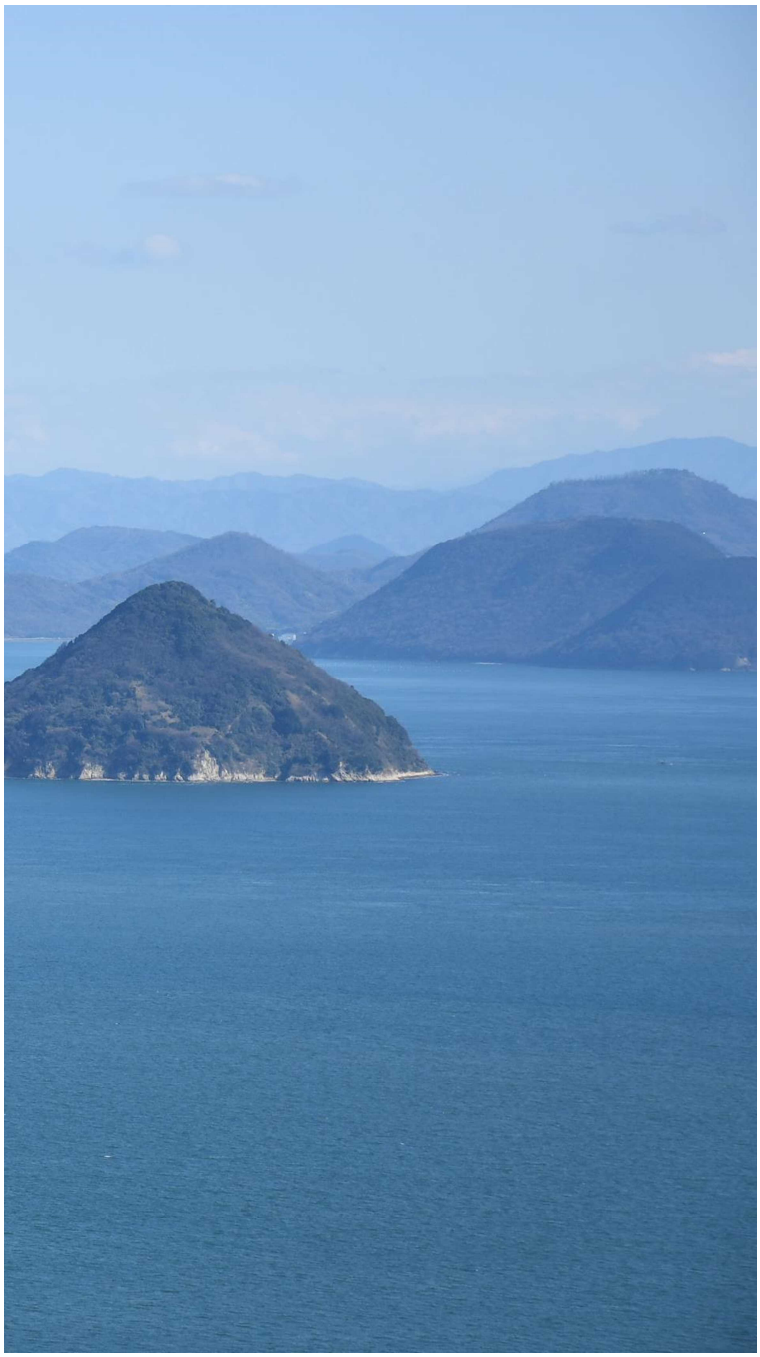
玉野市のプロフィール

玉野市は、岡山県の南端に位置し、瀬戸内海の美しい自然に恵まれた、風光明美で温暖な気候の港町です。

市の中心部にある宇野港は、岡山県の海の玄関口であり瀬戸内海の海上交通の重要拠点として発展してきました。フェリーの定期航路のほか、近年では大型船舶が着岸できる耐震バースに外国からのクルーズ客船の寄港も増えています。

産業については、造船業の企業城下町として発展してきたこともあり、多くの造船関連企業が集積する「ものづくりのまち」といわれ、製造業が中心となっています。

近年、市民のまちづくりに対する参画意識が高まっていることから、地域が主体性を持ち、その能力を十分発揮できるよう市民活動の積極的な支援を行い、市民と行政との協働によるまちづくりを進めるとともに、本市を取り巻く環境の変化に適切に対応し、限りある財源の中で事業の選択と集中を行いながら、「瀬戸内に輝く　市民が誇れるまち　～たまのからはじまり未来へつなぐ～」を将来像として掲げ、地域の特色を生かした満足度の高いまちづくりを進めています。



位 置

東経 133 度 57 分、北緯 34 度 29 分、
東西 16.2 ㎞、南北 14.3 ㎞、
岡山県の南端、児島半島の基部に位置。

地 勢

南部の花崗岩地帯（64%）と北部の秩父古生層地帯（36%）に区分され、市域の約 60%が山地で、大きな河川もなく、特に海岸部は花崗岩質の山麓が海に迫り、複雑な海岸線を形成。平野部は約 40%で、その大部分を農村地帯が占め、海岸部の平地は、埋立造成地を中心に集落を形成。

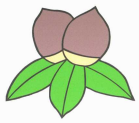
面 積（H30.10.1）
103.58 ㎢

人 口（H31.3.31）
59,328 人
男性：28,931 人
女性：30,397 人

世帯数（H31.3.31）
27,634 世帯
1 世帯あたり人数 2.15 人

人口密度（H31.3.31）
573 人/㎢

市花：つつじ


市木：ばべ

市魚：めばる

都市宣言

〇世界連邦平和都市宣言（昭和 33 年 9 月 30 日）
〇安全都市宣言（昭和 37 年 3 月 20 日）
〇青少年健全育成都市宣言（昭和 52 年 6 月 23 日）
〇非核平和都市宣言（昭和 59 年 6 月 25 日）
〇ゆとり宣言（平成 3 年 9 月 20 日）
〇敬老自治体宣言（平成 4 年 12 月 22 日）
〇環境宣言（平成 4 年 12 月 22 日）
〇男女共同参画都市宣言（平成 14 年 9 月 20 日）

玉野市民憲章

瀬戸内の美しい自然に恵まれた私たちは、郷土の発展とおたがいの幸福を願ってこの憲章を生活のささえとします。

1　健康で、明るくはたらきましょう。
2　みんな仲よく、助けあいましょう。
3　きまりを正しく、守りましょう。
4　緑と花のまちを、育てましょう。
5　世界に伸びる玉野をつくりましょう。

玉野市のよいところ

いつも見ている日常風景。いつも利用している施設。玉野市に住んでいると、“あたりまえ”で気づきにくいものも、外から見ると「よいところ」であふれています。

恵まれた自然環境

年間日照時間は全国でも上位に入り、「晴れの国おかやま」にふさわしい、温暖かつ小雨の気候に属しています。

また、約 44 ㎞の海岸線、緑あふれる山々など、風光明媚な自然環境に恵まれていることに加え、地震などの災害が少なく、とても住みやすい土地柄です。

大型客船が寄港する港

宇野港(クルーズポートウノ)の耐震大型客船バースは西日本最大級。年間を通じて、多くの客船が寄港しています。

また、四国や瀬戸内海の島々への海上交通として、フェリーも運航しています。

広い都市公園

丘陵地の自然を活かした「みやま公園」は面積約 200ha。敷地内には桜やツツジなど約 15 万本が植栽されています。

住民一人当たりの都市公園の面積は県内で最も広く、全国平均のおよそ５倍もあります。

瀬戸内国際芸術祭

瀬戸内国際芸術祭は、地域の活性化と瀬戸内の魅力を世界に発信することを目的として、３年に１度開催されるアートの祭典です。

玉野市も会場として参加し、国内外から多くの観光客が訪れています。

玉野けいりん

瀬戸内海を望むシーサイドバンク。昭和 25 年の開設以来、玉野市の財政を支えてきました。

平成 28 年１月にはナイター照明を整備し、夜間も開催しています。

マスコットの「ガッツ玉ちゃん」は一度見たら忘れられないインパクトがあります。

整備された下水道

下水道普及率は 95．2%と県内 15 市中１位の普及率です(平成３０年度末)。

適切な生活排水の処理を行い、住み心地のよいまちづくりに取り組んでいます。

救急車の到着が早い

通報から現場への到着時間は、平均６.４分と全国平均 8.5 分より約２分も早いまちです（平成３０年中）。

市内に１署４出張所の計５か所に救急車を配備し、素早く現場に到着できる体制を整えています。

充実した子育て教育施策

「地域ぐるみの中学校区一貫教育」の充実とともに、市立高校の魅力づくりを推進しています。

教育サポートセンターでは、青少年健全育成や教育相談等に取り組んでいます。

学校サポートスタッフや非常勤講師の配置等で学習環境づくりを進めています。

中学校卒業までの医療費（保険適用分）を市が負担します。

市民参加のまちづくり

「玉野市協働のまちづくり基本条例」を定め、市内の自治会・町内会や NPO 法人、ボランティア団体などの各種団体が行う社会貢献活動を支援する「協働のまちづくり事業」を実施しています。

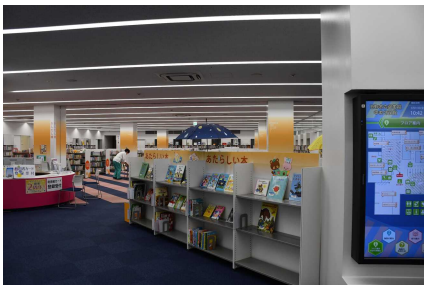
葬祭費無料

昭和 48 年から実施している無料葬祭制度。

市民は、市に対して有形・無形の貢献をしているとの考えから始まった制度です。

シーバス＆シータク

コミュニティバス「シーバス」と乗合タクシー「シータク」を組み合わせ、自家用車がなくても通院、通学、ショッピング、そしてサークル活動といった、市民の皆さんが様々なシーンで活用できる移動手段を提供しています。



玉野市立図書館・中央公民館（文化センター）

商業施設メルカの２階フロアの一部を身近な知の拠点とし、平成 29 年４月に移転しました。

さらなる市民サービスの向上と管理運営の効率化を図るため、指定管理者による管理運営を行っています。

都市交流

－　国内外に広がる友好の輪　－

国内では、**岡谷市（長野県）**と市制施行 40 周年を契機に、人口及び産業構造の類似した都市同士として、姉妹都市提携を締結しています。また、**中央区（東京都）**とは、本市の基幹産業である三井Ｅ＆Ｓホールディングス、北興化学の本社が立地していること、港湾都市であることなどから交流が始まり、平成８年には災害相互援助協定を締結しました。そして、鳥人幸吉ゆかりの地としてかねてから民間交流が続いていた**磐田市（静岡県）**とは、平成２７年に友好都市提携を締結しました。

国外では、**統営市（大韓民国）**と活魚の輸入を通じて交流が深まり、市制施行 40 周年記念事業のひとつとして、姉妹都市となりました。現在も玉野青年会議所を中心に市民レベルでの交流が続いています。また、**グロスター市（アメリカ合衆国）**とは、急速な国際化の流れの中で、英語圏の都市とも交流を進めることが、今後、重要な意味を持ってくるとの考えから、教育的・文化的に優れた同市との交流が始まりました。市民親善訪問団や中高生のホームステイなどによる市民レベルの交流を進めています。また、**九江市（中華人民共和国）**とは、平成５年に玉野市長を団長とする訪問団がを訪れたことを契機に交流が始まり、その後、行政間はもとより学校交流、書画展等の開催、研修生受入事業など民間ベースでの交流が進み、平成８年 10 月に友好都市縁組を締結しました。

友好都市

中華人民共和国　江西省

九江市（きゅうこう）

【縁組締結】平成８年 10 月５日

【面積】18,823 ㎢

【人口】4,896,800 人（H30.12.31）

姉妹都市

大韓民国　慶尚南道

統営市（とんよん）

【縁組締結】昭和 56 年８月３日

【面積】239.76 ㎢

【人口】139,168 人（H27.12.31）

姉妹都市

長野県

岡谷市（おかや）

【縁組締結】昭和 55 年 10 月 1 日

【面積】85.10 ㎢

【人口】48,438 人（H31.4.1）

交流都市

東京都

中央区（ちゅうおう）

【都市縁組】未締結

（H8.7.29　防災協定締結）

【面積】10.115 ㎢

【人口】164,383 人（R1.5.1）

友好都市

静岡県

磐田市（いわた）

【縁組締結】平成２７年１１月８日

【面積】163.45 ㎢

【人口】169,815 人（H31.4.30）

姉妹都市

アメリカ合衆国

マサチューセッツ州

グロスター市

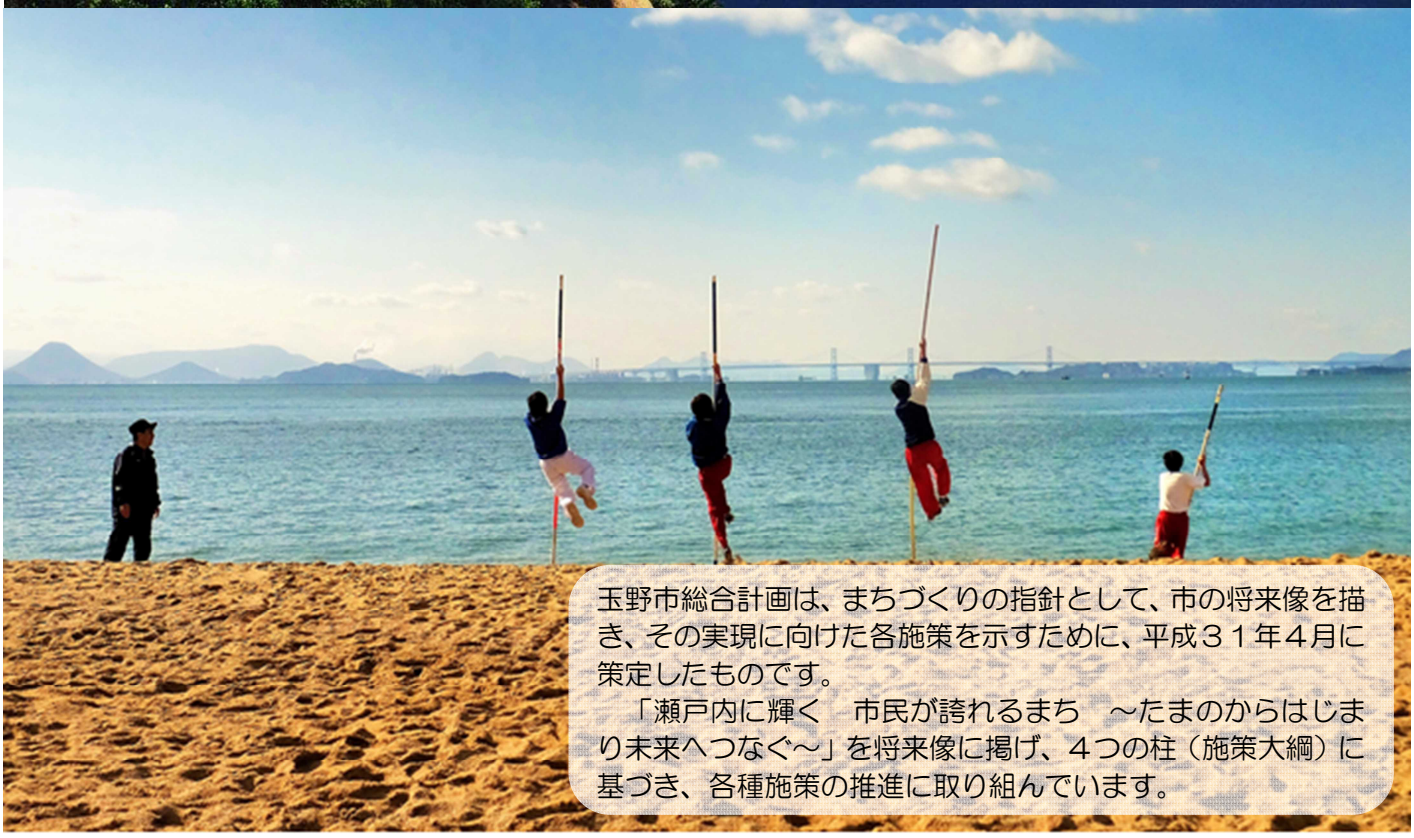
【縁組締結】平成 16 年７月 23 日

【面積】67.31 ㎢

【人口】30,238 人（H30.12.31）

玉野市総合計画

瀬戸内に輝く　市民が誇れるまち
～たまのからはじまり未来へつなぐ～



玉野市総合計画は、まちづくりの指針として、市の将来像を描き、その実現に向けた各施策を示すために、平成３１年４月に策定したものです。

「瀬戸内に輝く　市民が誇れるまち　～たまのからはじまり未来へつなぐ～」を将来像に掲げ、４つの柱（施策大綱）に基づき、各種施策の推進に取り組んでいます。

1 住み心地のよい活気あるまち

2 健やかで安全・安心に暮らせるまち

3 心豊かな人をはぐくみ支え合うまち

4 行政経営

1 都市機能が充実したまち

道路・交通等の利便性を向上させるとともに、様々な生活基盤の整備や空き家対策の推進等により良質な住環境を確保することで、都市機能が充実したまちをつくります。

2 快適な市民生活を支えるまち

恵まれた自然環境及び身近な生活環境の保全や廃棄物等の適正な処理により、環境負荷を抑えるとともに、利便性の高い葬祭サービスの提供等により、快適な市民生活を支えるまちをつくります。

3

活気ある
生き生きとしたまち

商工業、農林水産業の活性化により、新産業及び新たな雇用の創出を図るとともに、海・港・船といった独自の地域資源や農村漁村での体験型観光等を生かした観光振興により、交流人口を増加させることで、活気ある生き生きとしたまちをつくります。

4

安全で
災害に強いまち

防災・減災対策を推進し、災害等の発生時には迅速かつ的確に対応できる体制を構築するとともに、交通安全対策、火災・事故・急病等への対応及び消費者保護等に取り組み、安全で災害に強いまちをつくります。

5

住み慣れた地域で
生活できるまち

地域の福祉活動の充実を図るとともに、高齢者や障害者の自立した生活を支援するなど、市民の誰もが住み慣れた地域で生活できるまちをつくります。

6

元気のある
健康なまち

市民の誰もが必要な医療サービスを受けることができるよう地域医療を確保するとともに、市民の健康づくりを推進し、元気のある健康なまちをつくります。

7

生きがいに満ちた豊かなまち

多様な生涯学習活動を推進するとともに、芸術・文化、スポーツの振興等により、分野や世代を越えた交流の促進を図ることで、市民の誰もが生きがいに満ちたまちをつくります。

8

安心して子育てできるまち

子どもたちが健やかに成長できるよう、学校教育や地域・家庭における教育環境を充実させ、学力の向上と心の育成を図ることで、安心して子育てできるまちをつくります。

9

多様な主体で築くまち

人権の保護や男女共同参画の推進を図るとともに、コミュニティやボランティア等をはじめ、関係団体・関係企業等も含めた連携体制を構築し、地域活動の促進による地域で助け合い、支え合うことのできる多様な主体で築くまちをつくります。

10

戦略的な行財政運営

安定した財政基盤を確立するため、公共施設の再編整備の推進をはじめとした行財政改革に取り組む一方で、生み出した財源をもとに、本市の発展に必要な施策を展開するとともに、本市の魅力を効率的かつ効果的に発信するシティセールスの推進等、戦略的な行財政運営に取り組みます。

ユニークな行政施策

-たまの版生涯活躍のまち（CCRsea）の推進-

本市が進める生涯活躍のまちづくりは、高齢者や移住者のみならず、学び、働く若者や地域住民、障害を持つ方、事業者等がそれぞれの知見や知識、技術等を活かして活躍することを目指す取組です。

具体的には、新たな健康アクティビティの開発に向けた地域資源の検証や魅力的な健康ツアーの構築を、地域住民や事業者を巻き込みながら進めることにより、本市に活気と魅力を生み出す本市独自のまちづくりを推進します。

-玉野市立図書館・中央公民館（文化センター）-

平成29年4月に商業施設（天満屋ハピータウン・メルカ）に移転しました。身近な知の拠点であり、市民と来街者が行き交う交流拠点として、新たな賑わいの創出に繋げています。

図書館機能と公民館活動が一体となって連携する、全国的にもめずらしい「図書館と公民館が融合した施設」として、生涯学習の推進に活用されています。

-より良い地域交通サービスの提供-

コミュニティ交通は、免許が持てない学生や車の運転が難しくなった高齢者など、市内を自由に移動できない方々からの声を受け、コミュニティバス（シーバス）に乗合タクシー（シータク）を組み合わせた市民に身近な交通サービスを提供しています。

さらに、「シータク」は、市内の移動はもとより、路線バスやJRなどの交通機関とスムーズな乗り換えを実現し、利用の仕方によってさまざまな移動が可能となります。

-商工業の活性化-

玉野市は、造船業の企業城下町として発展を続け、現在も多くの造船関連企業が集積する「ものづくりのまち」です。これらのものづくり企業を応援するため、特に雇用創出や、新分野進出を伴う生産設備の取得を行う企業に対して支援を行うとともに、市内中小企業者に対する人材育成や情報化、販路開拓に関する取組も支援しています。

また、「若年者・女性雇用創出型創業応援事業」を実施し、若者や女性の新たな創業への支援を行うことで、街の賑わい創出と商業の活性化にも取り組んでいます。

-葬祭費の無料化-

「市民は、市に対して有形・無形の貢献をしている」との考えのもと、昭和４８年から、無料葬祭制度（市所有の霊柩車及び祭壇、本市斎場の待合室及び火葬炉、市が手配した木棺等付属品の使用に係るサービス）を実施しています。

-こども医療費助成事業-

中学校卒業までのこども医療費を全額補助（保険適用の一部負担金）することで、子育て費用の負担軽減と児童の健やかな成長を支援しています。

-生涯学習の推進-

現在、中央公民館を中心とした 16 か所の公民館と生涯学習センターが生涯学習活動の実践の場となっています。

また、平成 10 年から「まちづくり出前講座」として、市役所が関わっている仕事を学習するメニューを取り揃え、市職員や医師、市民ボランティア等が講師として、市民の自主的な生涯学習やまちづくりの活動を支援しています。

さらに、平成 22 年度から、地域を支える市民の育成の場として、「たまの地域人づくり大学」を開校し、様々な場面で活躍できる人材の育成に取り組んでいます。

-社会で活躍する人材育成-

「グローカル」という言葉が生みだされるほど、地方にあっても世界的な視野が求められる時代です。

本市では「地域ぐるみの中学校区一貫教育」を全中学校区で実施し、その柱に学力向上とキャリア教育の充実を位置付けてたまのっ子の育成に取り組んでいます。また、地域の活性化に寄与する人材育成を目指し、市立高校の魅力づくりを進めています。その他、中高生には姉妹都市グロスターへのホームステイや市内イベント等での国際交流活動を推進するなど、次代を担う人材の輩出に向けた教育を進めています。

-トップアスリート･アーティスト招へい事業-

子どもたちにスポーツの楽しさを体験させ、中・長期的なスパンで各団体の選手強化につなげ、競技力の維持・向上に努めています。

また、小・中学生に優れた芸術文化に接する機会を提供し、次代を担う人材の育成や本市における芸術文化の振興を図っています。

-移住・定住促進事業-

「たまのの IJU コンシェルジュ」が、あなたの移住を支えます。これまでに 61 組 116 人（2019 年 3 月末現在）の移住のお手伝いをしてきており、その豊富な知識と経験で、移住の検討段階から移住後に至るまで、親身に対応してくれます。お気軽にご相談ください。

移住を検討されている方を対象とした支援制度があります。

「**たまのの認定移住者登録制度**」…移住に役立つ情報や個別の要望に応じた情報提供を行っています。

「**たまののお試し滞在助成金**」…県外からの移住を検討されている方が「住居」や「仕事」を探す活動を行う場合や「地域情報」を収集する活動を行う場合に、滞在費の一部（宿泊費、レンタカー費用など）を助成します。

※その他関連する支援制度もあります。

-シティセールス推進事業-

本市出身の漫画家いしいひさいち氏の協力のもと、朝日新聞に掲載中の４コマ漫画「ののちゃん」を市のイメージキャラクターと位置付け、原付バイクのオリジナルナンバープレートを始め、広報紙やウェブサイトなど、多様な媒体で活用し、情報発信を行っています。また NPO 法人による「ののちゃんち」で、いしい氏の作品や市で作成したグッズを常設展示するなどしています。

また、市男性職員シティセールスグループ「TMN4.8」を結成し、市内外のイベントで市の PR 活動を行っているほか、市への移住定住を促進するため「すみたま」（すみたくなるたまのの略）をキーフレーズとし、広報たまのやインスタグラムで情報発信をしています。

©いしいひさいち

©いしいひさいち

イベント

海・港・船をコンセプトにした「たまの・港フェスティバル」や夏の風物詩となっている「玉野まつり」など、年間を通して多くのイベントが開催されています。

深山さくらまつり

渋川藤まつり

たまの・港フェスティバル

春

玉野まつり

渋川海水浴場
浴客サービスデー

夏

海洋博物館
（渋川マリン水族館）
ウミガメふれあいデー

渋川海水浴場海開き式

秋

元気が一番！まつり

たまの渋川ビーチサッカー大会

鳥人幸吉まちづくりフェア

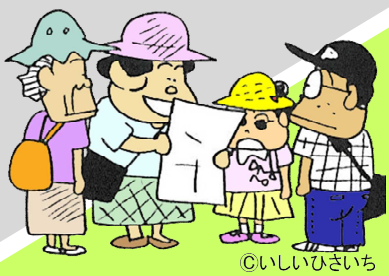
冬

郷土芸能発表会

道の駅みやま公園まつり
×
たまの雑穀フェスタ

通年

大型客船入港歓迎イベント



キャンドルナイト

新造船の進水式

特産物

- たまの の おすすめ -

近年、本市では地産地消の気運が高まり、地域住民のアイデアで多種多様な特色のある加工品が登場するなど、「玉野らしい」新たな逸品づくりが始まっています。

その中でより優れた逸品を“玉野ブランド”として認定しているのが「お宝たまの印」で、現在、６６の商品が認定を受けています。

海産品

胸上産海苔

【特産物】

海苔、メバル、ゲタ、サワラ、タイ、ハモ、アナゴ、マナガツオ、ベイカ

【お宝たまの印】

たまげたー夜干、焼きたこ、たこの味噌漬
穴子の味噌漬、大多幸くん（燻製）
タイくん（燻製）、サワラくん（燻製）
おおボラふき（燻製）
龍宮城（サワラ、大ダコ、タイの燻製）
焼き海苔、味付け海苔、塩海苔

サワラくん

穴子の味噌漬

大多幸くん

たまげたー夜干し

農産品

【特産物】

米、麦、大豆、なす、トマト、サツマイモ、しいたけ、なし、みかん、
スイートピー、雑穀（きび、たかきび、はとむぎ、あわ）、黒米、赤米、白小豆

千両ナス

【お宝たまの印】

玉野五穀（たかきび、もちきび、はとむぎ、
黒米、大豆）、赤米、乾燥椎茸、乾燥きくらげ、
柚子きくらげ、わさび椎茸、しいたけの旨煮、
星のトマト高糖度完熟トマトストレート濃縮、
滝のハチミツ

玉野五穀

スイートピー

酒類

【特産物】

紫笑伝(紫いもの焼酎)

【お宝たまの印】

たまの藤ロマン
（藤の実リキュール）

たまの藤ロマン

工業製品

【特産物】

船舶、銅、学生服、
化学薬品、食塩

【お宝たまの印】

エプソムソルト“シークリスタルス”
マスキングテープ

菓子類

【特産物】

紫いものソフトクリーム、備前玉野太鼓

【お宝たまの印】

紫いものスイートポテト・パイ・クッキー

進水久寿玉（もなか）

番田の紫いもバターカステラ

レモンケーキ（玉野産レモンを使用）

BLOOK natural icecream、紫いもくるみ、むらさきいもパウンドケーキ、ミカロン、

雑穀シフォン・クッキー、レモンカステラ、ブッセ、カステララスク、フィナンシェ

紫いもパイ

紫いも
スイートポテト

進水久寿玉

番田の紫いも
バターカステラ

民芸品

【特産物】

メバルグッズ

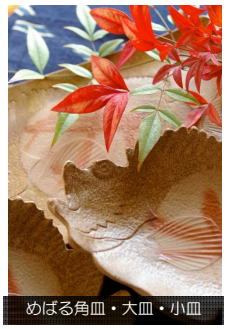
【お宝たまの印】

めばる箸置き

めばる角皿・大皿・小皿

お守り支綱（３種）

めばる箸置き


めばる角皿・大皿・小皿

お守り支綱

ののちゃんグッズ

ののポチ ネクタイ、NONOT シャツ、刺繍入りポロシャツ

NONO エコバック、ポチの足跡ハンカチ

【文房具】

藤原先生のメモ付箋、Ａ４クリアファイル

ポストカード

【雑貨・食品】

ゴルフボールセット、ワッペン、

まつ子さんの手ヌキカレー

ののポチ ネクタイ

Ａ４クリアファイル

手ヌキカレー

その他 ユニークな加工品

【ご当地グルメ・料理・スイーツ】

たまの温玉めし（穴子入り焼きめし）

たまの自衛艦カレー

ねこたまのクランチ

【お宝たまの印】

たまの温玉めしのたれ、紫いもうどん、

きびごはん、サラダ塩

たまの温玉めし

たまの自衛艦カレー

紫いもうどん

観光

本市は、瀬戸内海備讃瀬戸海域に面し、直島諸島等の多島美に恵まれ、東西約 44km に及ぶ海岸線と、渋川海岸など瀬戸内海国立公園区域を有しています。

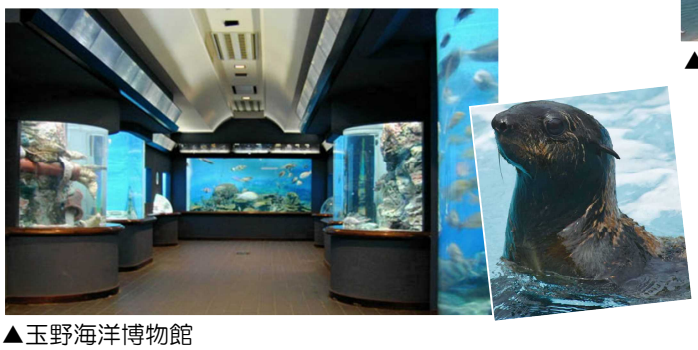
既存の観光資源としては、渋川海岸、王子が岳、みやま公園などが挙げられます。

また、宇野港では延長 280m・水深 10mの大型客船バースを利用し、交流型ウォーターフロントの創出に向けて様々な取り組みを行っています。

-渋川海岸-

県下最大の海水浴場として、京阪神からも多くの利用客が訪れます。周辺には玉野海洋博物館（渋川マリン水族館）やダイヤモンド瀬戸内マリンホテルなどがあり、王子が岳を含めたリゾート地帯として整備されています。

▲渋川海岸



▲玉野海洋博物館

▲王子が岳から望む瀬戸内海

-王子が岳-

花崗岩の奇岩・巨岩が林立する特異な山容で知られ、山頂からは瀬戸内海をはさんで四国連山や瀬戸大橋の全景を一望できます。また、体験型レクリエーションとして、パラグライダーやボルダリングも盛んです。山頂付近にはテーマパーク「おもちゃ王国」や「渋川動物公園」があり、休日には家族連れで賑わっています。

-みやま公園-

自然林とため池が連なる地域の自然を活かした公園として、整備されています。また新鮮な魚や野菜などの直売所「みどりの館みやま」や、「深山イギリス庭園」も併設され、県下最大の都市公園として、市内外から多くの観光客で賑わっています。

▲みやま公園

▲深山イギリス庭園

▲宇野港（クルーズポートウノ）

-宇野港周辺-

高松、直島、豊島、小豆島へ、のべ１日往復約 80 便のフェリーや旅客船で結ばれています。また、宇野港の大型客船バースには年間を通じて多くのクルーズ船が入出港しており、様々な寄港船歓迎のおもてなしを行うなど、にぎわいと潤いのある「交流型ウォーターフロント」を目指しています。

宇野港周辺のイベントとしては、毎年「たまの・港フェスティバル」が、海・港・船をコンセプトに開催され、また、現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」の会場のひとつとして、芸術祭屋外作品などが点在したアートサイトにもなるなど、多くの来訪者で賑わっています。

-瀬戸内国際芸術祭-

瀬戸内国際芸術祭は、瀬戸内海の島々を舞台に３年に１度開催する現代アートの祭典です。2010 年に第 1 回を開催し大きな反響を呼びました。

玉野市は 2013 年より宇野港会場として正式に参加し、国内外より多くの観光客が来場したほか、地元住民や市内の中高校生など、たくさんの方々がボランティアやイベントに関わり、地域の活性化につながりました。

この盛り上がりが一過性とならないよう、会期外の年も「ART SETOUCHI」と題して引き続き作品展示や地域イベントに取り組んでいます。

■瀬戸内国際芸術祭作品

JR 宇野みなと線アートプロジェクト（宇野駅）
エステル・ストッカー

終点の先へ　小沢敦志

海の記憶　内田晴之

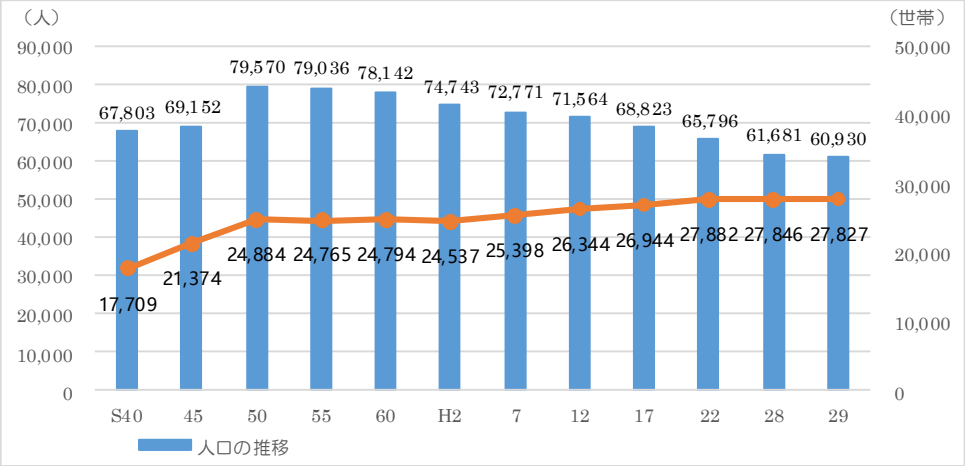
舟底の記憶　小沢敦志

観光列車ラ・マル・ド・ボァ

宇野コチヌ　淀川テクニック

宇野のチヌ　淀川テクニック

人口・世帯数の推移

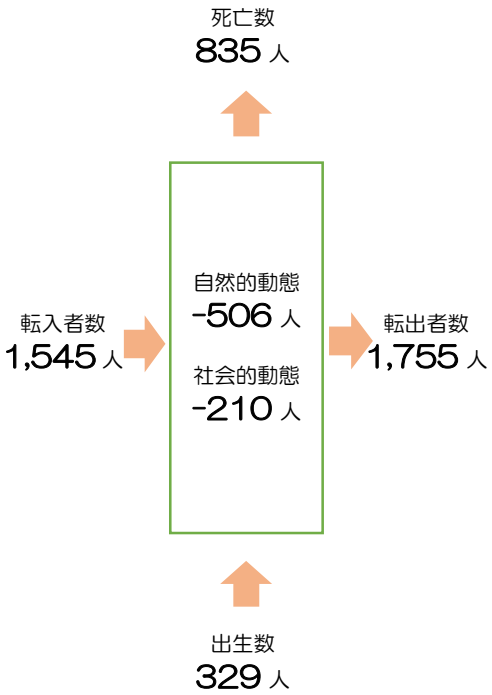


（資料：市民課　住民基本台帳各年３月末現在）

人　口　59,328 人
世帯数　27,634 世帯

（平成 31 年３月末）

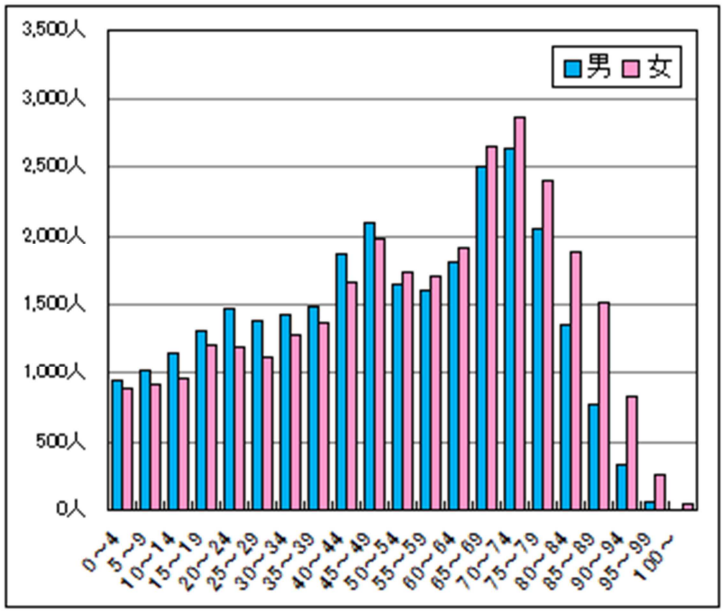
人口動態



平成 30 年度の人口の増減は、自然増減-506 人、転出入-210 人でした。

（資料：市民課　住民基本台帳　H30 年度）

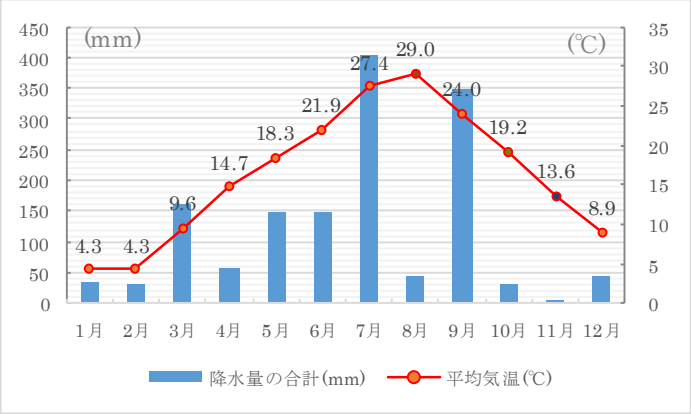
年齢別男女別人口



団塊ジュニア（45 歳周辺）と団塊の世代（70 歳周辺）に人口のピークがあります。

（資料：市民課　住民基本台帳　H31.3 末現在）

気象

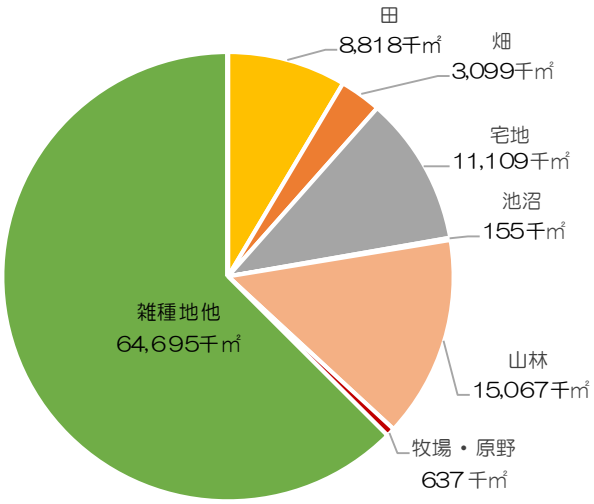


（資料：総合政策課　気象庁 HP より　H30）

年間平均気温　16.3℃
年 間 降 水 量　1450.0mm
年間日照時間　2286 時間
1 日降水量 1mm 以上の日数　86 日

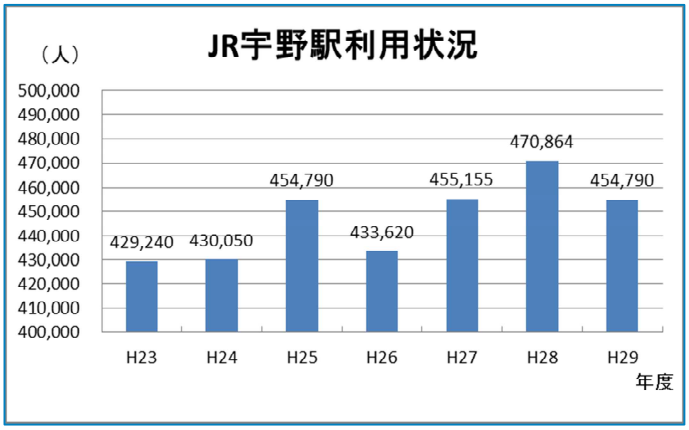
温暖で雨が少ない典型的な瀬戸内式気候であり、四季を通じて激しい気候の変化がなく、過ごしやすい地域となっています。

地目別面積



（資料：税務課　固定資産概要調書等報告書　H30.1.1 現在）

JR 宇野駅利用状況

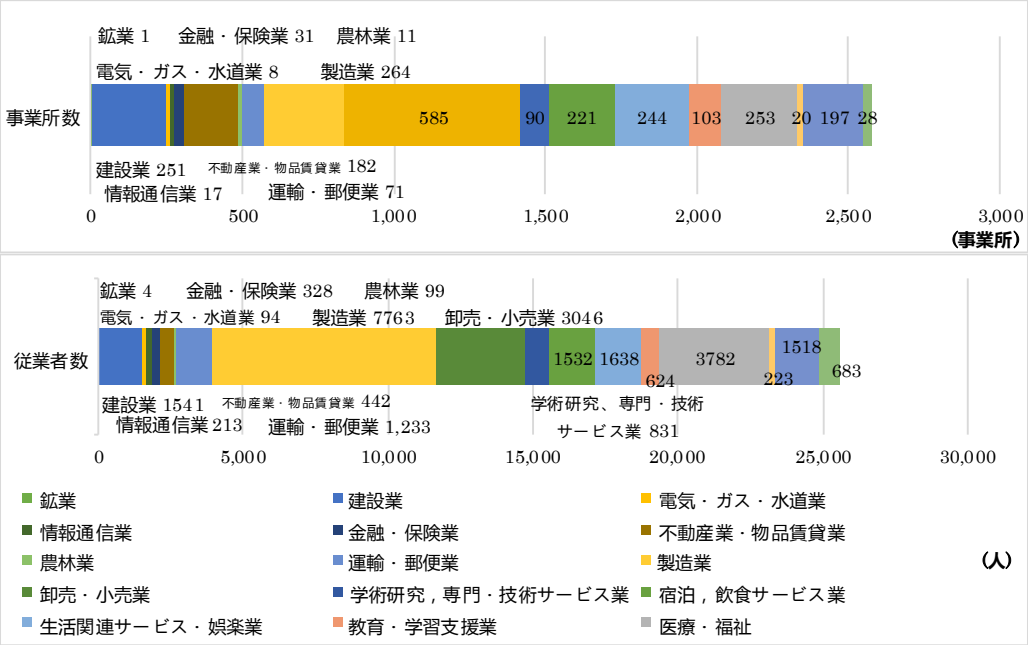


乗車人員　454,790 人（平成 29 年度）

明治 43 年に開通した宇野線は、本州と四国を結ぶ交通の主要ルートとして重要なウエイトを占めてきましたが、瀬戸大橋線の開通により利用者数が減少しています。しかし、平成 22 年よりスタートした瀬戸内国際芸術祭をきっかけに、アートツアーの玄関口として JR 宇野駅周辺地区がにぎわいを見せ始めたことから利用者数の増加が期待されるところです。

（資料：総合政策課　JR 宇野駅）

産業別事業所数及び従業者数

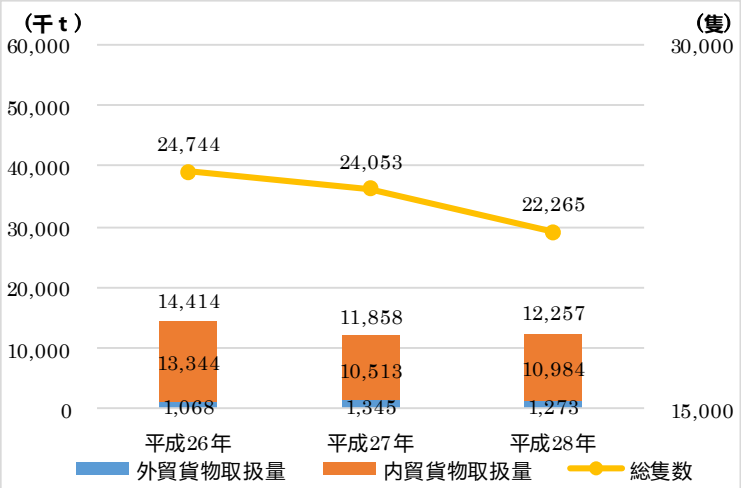


事業所数
2,577 事業所
従業者数
25,594 人

※国及び地方公共団体に属する事業所を除く

（資料：総務省　経済センサス基礎調査　平成26年）

宇野港入港船舶の状況



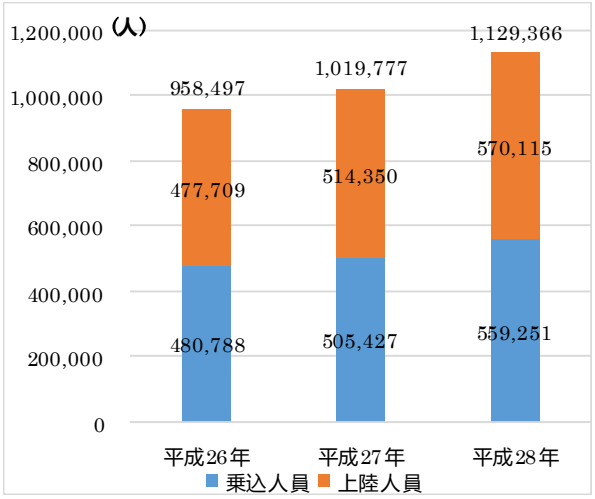
総入出港船舶数　**22,265** 隻（平成28年）
総貨物取扱量　**12,257** 千t（平成28年）

宇野港港湾計画により、宇野港田井地区は物流関連ゾーンとして、県下最大級（－12m）の岸壁が平成３年度に完成。平成16年度には、タイヤマウント式ジブクレーンが設置されるなど、物流機能の整備が図られています。さらに同港宇野地区を人流関連ゾーンと位置付け、平成17年度末には総延長280mの大型旅客船専用バース（－10m）が完成するなど、フェリーターミナルと合わせ人流機能の整備も図られています。

また、同港日比地区においても、海洋性観光レクリエーションの振興、港湾機能（マリーナ・小型船だまり）の充実が計画されています。

（資料：岡山県土木部港湾課　港湾統計調査）

宇野港船舶乗降人員



船舶乗降人員 **1,129,366** 人（平成28年）
（乗込・・・559,251人
上陸・・・570,115人）

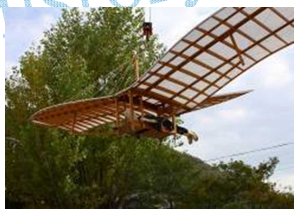
瀬戸大橋の開通に伴う宇高連絡船の廃止、また近年の高速道路料金の割引等による流通形態の変化により、トラックなどの自動車航送を中心としたフェリーの幹線航路としての機能は低下していますが、宇野港の乗降人員数は、約100万人で推移しており、現在もなお重要な役割を果たしています。

（資料：岡山県土木部港湾課　港湾統計調査）

玉野市のあゆみ

1167 年
西行法師が渋川や八浜を訪れる

1785 年
表具師幸吉（現在の玉野市八浜町出身）、岡山市の京橋欄干から羽をつけて飛ぶ



1909 年
宇野港竣工式

1910 年
宇野線開通
宇高連絡船就航

1919 年
日比町玉に三井物産の造船部（現在の㈱三井 E&S ホールディングス）創業

1934 年
瀬戸内海が国立公園に指定

1940 年
玉野市誕生

1948 年
市立玉野備南高等学校開校

1950 年
市営競輪場開設

1952 年
市立玉野療養所（現在の市民病院）開設

1953 年
市立玉野海洋博物館完成
備南電鉄（のちの市営電鉄）開通
山田村合併

1954 年
荘内村合併

1955 年
宇野港第一突堤完成
八浜町合併

1957 年
市立玉野商業高等学校開校
（現在の市立玉野商工高等学校）

1962 年
第 17 回国民体育大会（ヨット会場）

1966 年
現在の玉野市役所が完成

1968 年
国道 30 号バイパス
ループ橋完成
皇太子（当時）夫妻、スポーツセンタープール開きにご臨席

History of Tamano City

1970 年
成人の船始まる
（～1996 年）
玉野おどり始まる

1972 年
市営電鉄廃止

1973 年
葬祭費無料化を実施
玉野市民総合運動公園
野球場完成

1974 年
東児町合併

1983 年
玉野市総合体育館
（レクレセンター）完成

1988 年
瀬戸大橋開通に伴い宇高
連絡船廃止
ホバークラフト廃止

1994 年
現在の宇野駅完成

1996 年
道の駅みやま公園開駅

1997 年
市魚がめばるに決まる

1999 年
シーバス運行開始

2005 年
第 60 回国民体育大会
（自転車、フェンシング、弓道、バレーボール）

2010 年
市制 70 周年を迎える
ののちゃんがイメージ
キャラクターに決まる

2012 年
シータク運行開始

2013 年
皇太子殿下、新造船の
命名・進水式にご臨席
瀬戸内国際芸術祭 2013
に正式な会場として参加

2014 年
第 9 回全国ビーチサッカー大会

2016 年
瀬戸内国際芸術祭 2016 に参加
市男性職員シティセールス
グループ「TMN4.8」結成

2017 年
市立図書館・中央公民館リニューアル
ののちゃん・東児ライダーエイトに特別住民票交付

2018 年
市立玉野商工高等学校　機械科　新設

2019 年
瀬戸内国際芸術祭 2019 に参加

History of Tamano City

玉野市歌

昭和25年8月3日制定　　作詞　壺井繁治　　作曲　関忠亮

1　うみぐにの　うみぞいのまち
せとのしお　そのみちひきに
あけくれる　われらのまちの
いとなみよ　ああ、たまの
ひかりあるわれらのまち

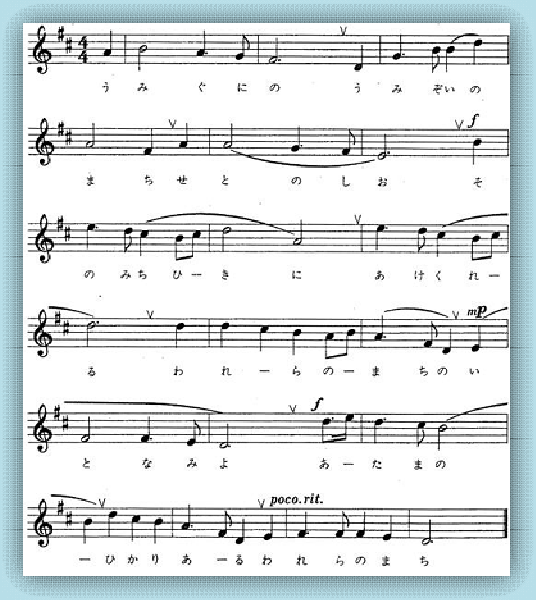
2　りくにいき　くらしのあせを
ながしては　うみにむかいて
むねひろげ　こゝろひとつに
きづくまち　ああ、たまの
あすへのぶわれらのまち

3　うのとたま　ひびをあつめて
だいたまの　でふねいりふね
ぞうせんに　とどろきやまぬ
わがまちよ　ああ、たまの
ちからあるわれらのまち

4　しまじまを　みさきをむすぶ
かよいぶね　こゝはしこくと
ちうごくを　むすびはんかな
みなとまち　ああ、たまの
さかえぬくわれらのまち

5　ほをあげて　すすむがごとき
われらには　かぜもあらしも
なにものぞ　こころひとつの
われらには　ああ、たまの
すすみゆくわれらのまち

6　ひるもよも　ひびきのなだの
なみをきき　なみにせかいの
こえをきき　へいわめざして
すすむまち　ああ、たまの
へいわなるわれらのまち



玉野市章

昭和16年5月13日制定。
（市民から公募）
「玉野（玉の）」の文字を配したデザインとなっています。

玉野市の概要

編　集　玉野市政策財政部秘書広報課
発　行　〒706-8510
岡山県玉野市宇野1-27-1
電話 0863-32-5533 FAX 0863-32-5507
発行日　令和元年7月1日